サマーにならない夏

記録的な低温と日照不足

景気低迷 ダブルパンチ

「真夏日」わずか4日

太陽がギラギラ照り付け、セミがけたたましく鳴くはずの日本の夏。だが、今年はちょっと変。子供たちでにぎわうプールはガランとし、景気低迷とのダブルパンチで夏物衣料やエアコンの売れ行きも低調だ。しかし逆に、野菜は高騰。濃霧のために高速道は通行止めが日常茶飯事となった。このまま秋になってしまうのか。あきらめの夏を追ってみた。

ガラガラのプール。泳ぎ回る子供たちも数えるほど　＝前橋・県営プール

天候

8月初の低温注意報

県内は先月二十七日、梅雨明け宣言が出された。今年の梅雨は、前橋の降水量が四六五・五ミリと過去四十年間で最もジメジメしていたが、明けてからも、夏らしい天気は長く続かなかった。

七月中の平均気温は、昨年より三度近く低く、真夏日となった日数は五分の一以下。日照時間は三分の一以下で観測史上ワースト二位。低温注意報が出されるようになった昭和四十六年以来、初めて八月に同注意報が出された。

前橋地方気象台の予報によると、今月中旬までは曇りや雨の日が多く、気温も低めに推移するという。

商戦

衣料、家電振るわず

スカッとしない天気同様、商戦も一向に燃えない。主力の夏物衣料の需要が伸びず、県内各デパートの売り上げは軒並みダウン。長そでの下着類がよく売れるほどで、早くも秋物に照準を当てている店も。

家電販売も振るわず、大手チェーン店ではエアコン、扇風機とも売り上げは前年の六割程度。販売担当者は「景気は悪いし天気も悪い」と顔を曇らせる。

観光地

キャンセル相次ぐ

冷夏の直撃を受けたのはプール。太田のとうもうサマーランドでは気温、水温が基準に達しないため七月末までに十六日間も閉鎖されたのが響き、入場者数は三万人減少した。

平野部が涼しいためか山間部の観光地も人出が少ない。例年なら予約でいっぱいになる利根郡片品村の武尊地区のペンションも、利用は昨年の七割程度。人気急上昇中のオートキャンプ場でも予約の取り消しが相次いでいるという。

対照的にホクホクなのが映画館。家族連れ向けの話題作に恵まれたことが拍車をかけ、連日大入りだ。

野菜

キャベツ、昨年の7倍

長雨と低温の影響で、野菜産地は大きな打撃を受けている。品薄から価格は高騰し、前橋青果市場では、キャベツは安かった昨年の七倍以上で、店頭でも一個三百円という超高値。このほか、玉ネギ、ナスなど夏秋野菜はほぼ二―五倍で取り引きされている。

日照不足は果物などにも影響が予想され、市場関係者は「甘さも期待できず、値も張る」とみている。

ビール・氷

売れ行き落ち込む

業界では二八度を超えるとよく売れるといわれるビールだが、今年はさっぱり。県酒販組合の調べでは、今年上半期の全国のビール出荷量は対前年比九九・四%で、比較的好調だった県内も七月分は相当落ち込むもよう。ビアガーデンも稼ぎ時に雨にたたられた。

同様に氷店も上がったりだ。「かき氷はいつもの十分の一しかでない」（前橋市内の氷店）状態という。

【数字で見る冷夏】

	4　年	5　年
平均気温（7月・前橋）	24.4度	21.8度
真夏日（7月・前橋）	22日	4日
日照時間（7月・前橋）	178.1時間	51.9時間
降水量（7月・前橋）	207.0ミリ	267.0ミリ
最大電力消費（7月・県内）	277.5万キロ	250.2万キロ
ビアガーデン休業日（7月・高崎高島屋）	4日	12日
関越通行止め（6～7月）	1回	25回
プール入場者（7月末まで・サマーランド）	48786人	17854人
キャベツ（7月下旬・前橋青果卸値）	31円／キロ	224円／キロ
映画館入場者（6～7月・テアトル西友）	12000人	15000人

電力・水

7ダムで満水状態

エアコンの利用が少ないのを受けて電力消費量もダウン。七月の最大電力（一時間の平均値）は昨年を下回った。夏の電力消費量は年々増加しており、前年より減ったのは五年ぶり。

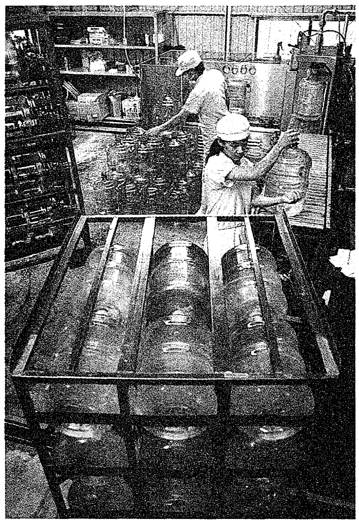
雨が多いために渇水の心配はまったくなし。利根川水系の七ダムでは適度に放流しながらも、ほぼ満水状態を保っている。

高速道

視界不良で渋滞

今年は霧の当たり年か。関越道、上信越道とも視界不良のため、通行止め規制が頻繁にかかる。関越道は渋川・伊香保―沼田インター間、上信越道は松井田・妙義―佐久インター間が名所で、観光地を抱えるだけに影響は少なくない。

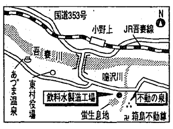
また、高速道からの車両で一般道が渋滞。運送、観光のほか、市民生活にも大きな影響を及ぼしている。


容器に詰められ出荷される箱島湧水＝吾妻郡東村箱島

吾妻・東 箱島「不動の泉」

清流求め[illegible]

わき水 ボトルで宅配



吾妻郡東村箱島地区は、日本名水百選に選ばれた「不動の泉」があることで知られる。こんこんとわき出る水は日量三万トン。大自然の偉大な恵みだ。

同地区には「不動の泉」のほかにも、いくつかのわき水があり、簡易水道やマス養殖などに利用されてきた。その一つのわき水が、三年前から飲料水としてペットボトルに詰められ、商品化されている。小さな〝工場〟の責任者、増田窓男さん(四二)は十年ほど前、六合村の自然にひかれ家族で東京から移り住んできた。「田舎のよいものを東京の人に伝えたいと考えたとき、東京で買って飲んでいた水に注目した。うまくいくと確信があったわけではなかった」と話す。

水は、外国から輸入している五ガロン（一八・九リットル）入りのペットボトルに詰め、東京二十三区と横浜、川崎で宅配している。ゼロからの出発で、現在の契約者は約千戸。八割が個人宅で、残りの二割が事業所だ。

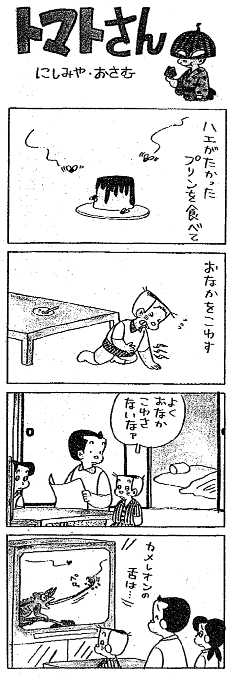
「東京の水はあまりにもひどい。宅配した水は、ご飯を炊いたりみそ汁を作るのにも使ってもらっている」という。

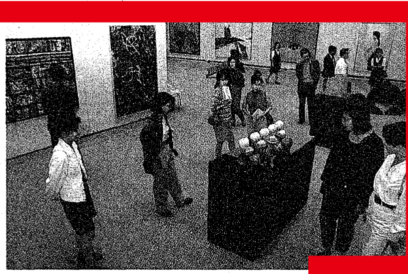
わき水は、地中に潜ってから十年から二十年かかって出てくると言われる。自然の豊かな東村だが、最近はゴルフ場もでき開発が進む。

「水質検査は定期的に行い、万全を期している。箱島の水が汚染されるような事態が起きれば、それは一企業の問題ではない」と、清流の確保には厳しい目を向けている。

トマトさん

にしみや・おさむ


ハエがたかったプリンを食べて
おなかをこわす
よくおなかこわさないなァ
カメレオンの舌は…


油彩画や彫刻など若手作家の作品を展示したビエンナーレ展　＝県立近代美術館

ビエンナーレ展スタート

若手作家の感性光る

県立近代美術館

美術を志す若手作家を対象とした公募展「群馬青年ビエンナーレ'93」が七日、高崎市岩鼻町の県立近代美術館で始まり、美術ファンらの関心を集めている。

同展は二年に一度開かれており、今回は本県出身または在住している十六歳から二十九歳までの百六十一人から、油彩画、版画、彫刻など二百十一点の応募があった。

会場には大賞に輝いた鶴渕貴明さん(二七)＝利根郡利根村＝の木製彫刻「生命(はな)」をはじめ、入賞・入選した六十一人の作品六十七点を展示。あふれる感性が来場者を魅了している。

また、招待部門は「幸せの約束」のテーマで、駒形克哉さんら若手三人の平面、立体作品約三十点が展示されている。会期は九月五日まで。

訂正

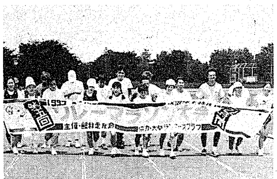
6日付「おもいっきり冒険隊」の記事で、土屋幸織さんとあるのは、土屋邦夫さんの誤りでした。

時の話題

▽館林市つつじ町の城沼陸上競技場で七日、二十四時間リレーマラソン大会（館林走友会主催）がスタート＝写真＝、参加者は暑さや睡魔と闘いながら、八日正午のゴールを目指している。

▽大会は、会員や市内のジョギング愛好者の親ぼくを深め、体育活動の活性化をと開かれおり、今年五回目。節目を記念して大泉ランナーズの女性八人も参加した。

▽夏の日差しの中、二十三人が横断幕を持ってスタート。参加者は三組に分かれ、一周四百メートルトラックを一人が十周して次走者にリレー。八日に加わる人も含め参加は総勢五十人で、三組の走破距離は延べ一千キロに上るとみられる。



だからツーユーホームに決めました。
●ツーユーホームに大満足！和風でも洋風でもないどっしりとした外観・内観など、どれも私たちの好みにピッタリ。住みよさを重点に考え間取りや庭の計画を立てました。使いやすいバルコニー明るく便利なキッチンとダイニングの出窓、優しい明かりのダウンライトなど、どれも満足しています。外溝工事も親切ですね。
No.215　木村禎彦様ご家族　太田市
Harmonate INTERVIEW　群馬セキスイハイム株式会社　☎0272-53-3444（代）
建て替えならツーユーホーム

お申込は料金無料のフリーダイヤル
0120-00-3885へ
夜間申込は　TEL0272-66-1072・FAX0272-66-1954
引越は安心できる地元の専門業者へ！
梱包から解梱・不用物の処理及び保管迄
夜間・休日も営業
駒　群馬引越センター　駒形運送
本社／前橋　西毛／高崎(営)　東毛／太田(営)

第10回　食糧と農業問題シンポジウム
「アイ・ラブ・ライス」
とき　9月9日㊍
午後1時30分開場　2時開演
ところ　前橋市民文化会館
大ホール
前橋市南町3-32-6
林家こん平の笑タイムに1200名様無料ご招待！
応募方法　入場希望者はハガキに❶住所（郵便番号）❷氏名❸年齢❹職業❺電話番号❻入場希望者数を記入し、下記までお申し込みください。
申込先　〒371前橋市古市町1-50-21上毛新聞社広告局「アイ・ラブ・ライス」係
※応募者多数の場合は抽選の上、招待状を発送します。締め切り…8月30日㈪到着のものまで有効です。
発表は招待券の発送をもってかえさせていただきます。尚、招待券は9月2日㈭に発送いたします。

落語家
林家こん平の笑タイム
第1部　こん平さんのトークショー
テーマ「日本の食　見直そう」
第2部　こん平さんの独演会
演目「寄席育ち」
第3部　お楽しみ抽選会
PROFILE
●本名　笠井光男（かさいみつお）
家紋「花菱」出囃子「佐渡おけさ」
昭和18年3月12日新潟県に生まれる。
昭和33年3月、故、林家三平師匠に入門する。昭和34年3月落語協会、前座入り、昭和37年11月二つ目昇進。昭和47年9月に先輩、同輩18人を抜いて真打に昇進。スピード昇進ということで当時のマスコミを賑わせた。昭和55年9月に師、林家三平の他界後、37才の若さで一門32名を引き受け、一門を束ねる。昭和60年ゆまに出版より「人生は開けごま」を出版。昭和63年6月落語協会理事に選任される。昭和41年より始まったNTV系「笑点」では第一回からのレギュラーで、現在28年目を迎えた。その他、TVドラマ・映画等・多数出演。レコードも4枚出し、「コシヒカリ音頭」は、コロンビア・レコード、ヒット賞を受賞した。
主催　上毛新聞社　共催　JA群馬中央会

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。